

共に考え 共に創る 魅力あるまち

よせい報広

9

SEPTEMBER2016
No.149

Seiyo City Public Relations

〈特集〉

ママが笑顔になるために

「共感を得られる場にいると、居心地が良いですね。分かり合える部分に救われていますし、心強く感じています」。和田幸絵さん（宇和町）は4歳と2歳の2児のママ。児童館でママたちとおしゃべりをしたり、一緒にお弁当を食べたりする時間が笑顔になれる瞬間の一つです。

「自由に外に出たい」

「子ども中心なので、食事もお風呂も、トイレや睡眠さえも思うようにできない。自分の時間はありません」

「離乳食を食べてくれない。まるで捨てるための離乳食作りみたい」

「そういえば今日、夫以外の大人と話してない」

「夫へのイライラが止まらない。おむつを替えても、着替えさせても、ミルクを作っても『やり方が違う!』と怒りが爆発。出産前までは仲良しだったのに…」

「孤独感に耐えられないときがある。社会から切り離された感というか…」

「俺は仕事で疲れとるけん休ませて。大体、子育てするための育児やろ?」と言う夫にムカツ。何も分かってない!

最近、ママの笑顔を見ているますか?!

「スーパーとか人が多い場所で大泣きされると、どうしようって焦る。家に置いてこれないから連れて来てるのに。迷惑そうな周りの視線が気になる」

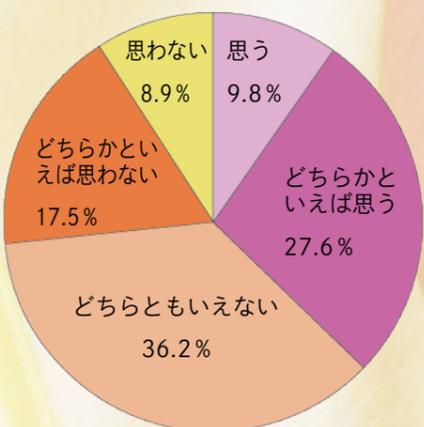
「抱っこじゃないと寝てくれない。しかも、良く寝たとしても1時間。私、ここ2カ月横になって寝ていない」

「うまく育てられないのは私のせい?」

「私って母親失格?」

「あやしてもなだめても泣きわめく子ども。どうすれば良いの…。こっちは泣きたいよ」

「出産よりも、育児の方がずっと大変。『しんどいのは最初の数カ月だけよ』と言われたけど、大変さは想像以上。晩婚だから体力もないのかな…」



あなたは西予市が子育てしやすいまちだと思いますか? (平成26年度まちづくり市民アンケート結果)

人知れず悩み、泣き、それでも必死にがんばっているママに、私たちは温かなまなざしを向けることができているのでしょうか。

赤ちゃんの誕生は、親にとっても家族にとっても嬉しいもの。自分の元に生まれてきてくれたとおしい命は、何より守るべき大切な存在です。

しかし、子ども中心の日々を繰り返す中で、ママたちの心と体には疲労が積み重なっていきます。成長を感じられるのは何よりの生きがいですが、子育てはきれいごとだけでは語れません。

平成23年社会生活基本調査によると、6歳未満の子どもがいるママの育児時間は近年増加が続いている上に、パパが携わる時間の3倍以上も子育てに時間を費やしています。「イクメン」という言葉を耳にすることも多くなってきましたが、子育ての多くは依然として母親が担っています。

誰よりも子どもと向き合っているからこそ、他の人からは見えにくい不安や不満を抱えているママたち。平成26年まちづくり市民アンケートの結果をしてみると、西予市を「子育てしやすいまち」だと思っているのは3割強。「どちらともいえない」と答えた人も、ほぼ同じ割合でした。

人口減少、少子高齢化、女性活躍社会などが叫ばれる現在、ママたちが「子育てしやすい」と感じなければ子どもの数は増えるはずがないし、女性がいきいきと活躍できるはずがありません。何より、ママが笑顔になれないと、子どもも家庭も笑顔にはなれません。

もし、ママが心から笑顔になれる回数が増えたら、子どもも家庭も今よりもっと笑顔になれるはず。家庭の元気は、まち全体の活気へとつながっていくはずです。

今号では、もっと「子育てしやすいまち」に近づく第一歩として、西予で子どもを育てるママたちが、今よりもっとハッピーに、もっと笑顔になれる方法を考えます。

(特集) ママが笑顔になるために

ママ、一人で泣かないで

赤ちゃんを抱えているママは、24時間労働モード。トイレや食事などの時間も思うように取れない状態です。その大変さを知り、寄り添うだけでも、ママの心はぐっと楽になります。

それまで一人の男性、一人の女性だった人が、出会い、恋に落ち、子どもを授かる。赤ちゃんが生まれたことで親となり、育て上げる重責を担います。買い物や美容室、お出かけなど、今まで簡単にできていたことが思うようにできなくなる生活に、ふいに本音をこぼすと「甘えがあるので」「子育てとはこういうもの」などと言われることがあるかもしれません。

女性にとって、湧き上がる感情に共感を示してもらえないのは、孤独や疎外感を感じる要因に。特に産後の女性は、心も体もとてもデリケート

ト。ホルモンの分泌や脳の神経物質の影響で、情緒不安定になりやすい状態です。

その証拠に、出産を機にうつを発症する「産後うつ」は一般的なうつの5倍以上。原因の一つが、周りからのサポートを得られず孤立した心理状況になってしまっていることにあるとされています。

赤ちゃんが泣き止まない、寝てくれない、自分一人で24時間向き合わなくてはいけない！。独りぼっちで自信をなくしたり、うまく子どもと向き合えない罪悪感や不安を抱えながら子育てしたりしているママは、決して少なくありません。市の調査



では不安や負担を感じながら子育てしているママは3割以上。抱えている不安や、感じている孤独に共感を得られないでいると「子育ては孤独が大変」なものになってしまいます。

「共感」と「寄り添い」が鍵

実際に取材する中で「育児休暇中とはいえ全然「休暇」ではない。自由にトイレにも行けないし、ご飯も食べられない。昼も夜も眠れないし、常に労働モードなのに、夫からは『家で休めていいな』と言われて、あまりに悲しすぎて一人で泣いた」

という人もいました。

「それまでの生活環境が大きく変わることで、第一子の子育ては特に大変だと思えます」。

子育て支援センター（宇和保育園）スタッフの清家麗子さんは「多くのママたちが、毎日一生懸命にがんばっている」と体感しています。「子どもは親、家族、地域、皆にとっての宝。でも、とある子育ての講演会に出席したとき、母親の安定した心が子どもの健やかな成長につながっていくという意味で『子が宝なら、母もまた宝』という言葉が学

び、私自身ハッとさせられました」。

泣き声が近所迷惑になることを心配して夜中に子どもとドライブに出かけるママや、インターネットで調べた子どもの成長情報に落ち込み、不安になっているママ。自分のことは後回しにして必死でがんばっている人に光が当たる意味でも、「母も宝」という言葉は心に響くのかもしれません。

「泣き声がうるさくてすみませんと謝ったときに、子どもは泣くのが仕事やけん、気にせられんよ、静かになったらどうするん、まちから活気がなくなってしまふよ、などと言われて楽になった」という話も耳にしました。「ママ、がんばっているね』『お子さん、大きくなったね』と、温かな気持ちを言葉に出して伝えるだけで、笑顔になれるママはたくさんいます」。

大変さを知り、気持ちに寄り添うこと。抱えている思いや悩みを理解し、温かな言葉や行動で伝えること。「共感」と「寄り添い」は、ママが笑顔になれるキーワードです。夫や家族など周囲の人はもちろん、まちで出会う私たちも、ちょっとした言葉や行動で温かな気持ちを表し、ママを笑顔にできるはずですよ。

ママの心を支えます

♥地域子育て支援センター

就学前児童を持つ親子を対象に、子育てに関する疑問や悩みに応じます。

宇和保育園（すくすくルーム）とひまわり保育園（コアラーム）で実施中。

☎宇和保育園 0894 (62) 2588

☎ひまわり保育園 0894 (33) 3066

♥健康づくり推進課と各支所生活福祉課

市役所（各支所）の保健師や栄養士が、乳幼児の発育・発達に関する相談に随時対応。子育て全般、どの時期の相談にも応じます。妊娠期の体や心など、妊娠期の悩みなども。

☎市役所 健康づくり推進課0894 (62) 6407

☎明浜支所 生活福祉課0894 (64) 1271

☎野村支所 生活福祉課0894 (72) 1113

☎城川支所 生活福祉課0894 (82) 1115

☎三瓶支所 生活福祉課0894 (33) 1313



「『子が宝なら、母もまた宝』という言葉にハッとさせられました」。地域子育て支援センターの山下さん（左）と清家さん（右）

自由に参加可

野山のおさんぽ会



「タイコウチ捕まえた！」珍しい水生昆虫を発見してにんまり

野外での体験活動を軸とした幼児教育「森のようちえん」スタイルのおさんぽ会を、月2～3回程度開催しています。開催場所は、主に宇和町や野村町の野山など。

参加費無料。自然の中で子どもを見守る子育てと一緒に楽しみませんか。メンバーは固定されていないので、自由な雰囲気を楽しめます。

日時▶ 9月11日(日) 午前10時～

9月20日(火) 午前10時～

場所▶ 未定(決まり次第ホームページに掲載)

対象▶ 1～5歳の幼児とその保護者

おんぶや抱っこの小さいお子さんもOK

定員▶ 親子あわせて20人くらい

参加方法▶ メールで申し込み

持ち物▶ 帽子、飲み物、タオル、お弁当、雨具(カッパ)、着替えなど

雨天決行(荒天中止)。傷害保険にも加入。

日程など詳細はWebで随時更新中。

ホームページ: <http://noyamacompany.com/>

問 ノヤマカンパニー noyama.company@gmail.com

子育てサークル

子育てサロン金太郎

明浜町狩浜地区を中心に、月1回活動中。ベビーマッサージやミュージックケア、絵本の読み聞かせ、季節のイベントなど。閉校した狩江小学校に新しくできたキッズルームに集って遊ぶことも。

問 代表者 酒井こずえ ☎0894 (65) 0858



2



3

1 雄也さんは今治市出身、千晴さんは山口県出身。10年間の埼玉県暮らしを経て、昨年西予市に移住。きっかけは「西予で出会った人が素敵で、こういう人たちと暮らしたら楽しそうと思ったから」と千晴さん。

2 「お腹すいたー。いただきまーす！」みんなと一緒に外で食べるお弁当は、味も格別。

3 娘の悠風ちゃん。たくさん遊んで木陰でお昼寝。

加藤 雄也さん (35)
千晴さん (35)
悠風ちゃん (1)
= 宇和町稲生 =



つながると きつと「楽」になる

ママにとって大切なのは、大変さを分散できる場があること。「選択肢が増えることって大事。私たちの活動が、その一つになれば」と、ノヤマカンパニーの加藤千晴さんは話します。

埼 玉県から昨年、西予市に移住した加藤さんファミリー。

地域おこし協力隊の雄也さんと、自宅でホームページ制作の仕事を行う千晴さんは、前職で環境教育などに携わっていた経験を生かし、5月から「野山のおさんぽ会」を開催しています。

おさんぽ場所は、すぐそばにある田んぼや山など。「自然体験を通して子どもを成長させることはもちろん、親同士の交流の場にもなってほしい」と考えています。だから、おんぶや抱っこの赤ちゃんの参加もオッケー。

4 回目の開催となる7月下旬の会場は、宇和町伊賀上の田園。地元の許可を得た場所で開催しています。参加者は、加藤さんファミリーと、友人の子どもの計4人。

「友人も参加予定だったので、下の子が熱を出してしまっただけで、親子参加が原則ですが、信頼関係ができている場合は、子

どもだけ預かることもあります。夢中になって遊ぶ子を優しい視線で見守る千晴さんは、1年前に埼玉県で長女を出産しました。近くに親類がいらない中での子育ては「最初は大変だった」と言います。

自分に合う場所は心地いい

市の調査では、子育てサークルなど自主的な活動へ「現在参加していないが、今後機会があれば参加したい」と思っている未就学児のママは5割近く。子どもと向き合い続ける日々の中で「誰かとつながりたい、話をしたい」と思うママは多くいます。

一方で、市内で定期的に活動しているママたち主催の育児サークルは現在2つ。他に自主的な活動があったとしても口コミで広がっていたりして、存在が分かりづらい状態です。

「仕事をしながら、日常的に自

然の中で遊ばせる子育てをしたいと考えたとき、市内ではそういう活動を見つけたことができませんでした。ないのなら創ってしまおうと思ひ、始めたのがおさんぽ会です。

ツルやコウノトリが飛来する西予の豊かな自然環境に魅せられた千晴さん。室内ではなく、自然の中で子どもを育てたいと考えています。

「子育てには正解はないと思うので、いろいろ試してみても、時には失敗しながら自分たちに合うや

り方を見つけていけたらいいなと思うんです。そのためにはママにとっての選択肢が増えることが大事。多ければきっと、自分に合う場所があるはずですから」。

千晴さんは、人とのつながりができてから、この地での生活や子育てを楽しく感じられるようになりました。大変さや孤独を和らげ、自分が笑顔になれる場所の大切さを実感しています。だからこそ、この活動が、同じような思いを持つママにとって選択肢の一つになるならうれしいと話します。

地域で子育て かかわって笑顔

ママの負担を少しでも軽くするため、市では10月からファミリー・サポート・センター事業を始める予定です。
あなたの優しさを、子育てサポートに生かしてみませんか。

子 育ては親の仕事。もし親自身が大変なら、祖父母に頼れば良い。本当にそうでしょうか。

かつてとは時代も、地域社会も、家族形態も変わりました。今や西予市の核家族の割合は約6割（平成22年国勢調査）。昭和55年には全国平均5割あった三世代家族は1.5割。昔は祖父母や地域と共に行っていた子育ての重責が、親の肩に大きく押し掛かってきています。

平成23年社会生活基本調査によると、6歳未満の子どもがいる核家族のうち、世帯外（祖父母など親族）からの育児支援を受けている世帯は約4割。市の調査でも、

市内の子育て世帯のうち、日常的に祖父母など親族に子どもを見てもらえるのは約4割という結果が出ています。

頼りたくても祖父母には頼りづらいし、頼れる環境にもない。そんなママたちの負担を少しでも軽くするため、市では10月からファミリー・サポート・センター事業（通称ファミサポ）を開始する予定です。

ファミサポとは、地域で子育てを行う有償の会員組織のこと。平成6年度に厚生労働省による国の補助事業としてスタートしました。現在、全国で769の自治体の実施中。育児のサポートを受け

ただ今、大募集中

子育てをサポートしたい人、されたい人



▶ 援助の内容

- 保育所・幼稚園・小学校や学童保育所の開始時間までや、終了時間後の子どもの預かり
- 保育施設などと援助活動を行う場所（原則は提供会員の自宅）までの子どもの送迎
- 保護者が買い物や外出時の子どもの預かりなど

▶ 提供会員募集

市内に住所を有する20歳以上の人で、心身ともに健全で、この事業に対する理解と熱意を持ち、積極的に援助活動できる人。

事前に安全・事故対策も含めた援助活動に必要な講習を受けます。

子どもを預かってほしいけれど、時間があるときに子どもを預かることができる人は「両方会員」になることもできます。

▶ 依頼会員募集

市内に居住している生後6カ月から小学校6年生までの保護者で、子育ての援助を受けたい人。

▶ 費用

援助活動時間に応じた料金を、依頼会員から提供会員へと支払います。金額などは今後、会員全体で話し合って決めていく予定です。

▶ 預かった子どもが事故にあったら

万が一の事故に備えて、補償保険に加入します。

▶ 依頼会員（他市町）の声

「残業や出張の日でも子どもを預かってもらえるので、安心して仕事ができます。この制度のおかげで仕事が続けられました」

▶ 提供会員（他市町）の声

「かかわっているお子さんの成長が見られます。今では家族ぐるみで交流もしています。とてもかわいくて毎日のサポートが楽しみです」

問 市ファミリー・サポート・センター（福祉課内）

☎ 0894 (62) 1520

たい人（依頼会員）と、サポートしたい人（提供会員）がメンバーとなって行います。

ママは、どこでくつろぐの？

「私たち夫婦には子どもがいないので、子どもさんと接したいな、少しでもお役に立ちたいなと思っただけです」。

子育てをサポートしようと決めた三好浩美さんは、以前暮らしていた大阪府堺市でも、実際に提供会員として活動していました。

三好さんが預かっていたのは、5歳くらいの女の子。依頼を受け



た日は午後4時頃に幼稚園に迎えに行き、保護者が来る午後7時くらいまで自宅でみていました。その期間、およそ2年間。

「最初は事故がないようにと不安だったのですが、接しているとまるで本当に自分の子どものように、かわいくてたまらなくて。ご近所にも別の提供会員さんがいたのですが、そのご夫婦もお子さんを大変かわいがっていました」。

サポートできることを、自身の生きがいのように感じていた三好さん。「やってみて良かった」と思えたからこそ、西予市でも提供会員になりました。

「女性って、男性には見えない部分にもつい気が付いてしまうので、外でも家庭でも多くの仕事をこなしているでしょう。ママがくつろげる場所って、一体どこにあるんだろう？ と思っています。抱えすぎているママは、ぜひこの制度を利用して、重荷を軽くしてほしいです」。

提供会員という形で子育てをサポートできるのは、新しい地域貢献の一つだと三好さんは感じています。何より、子どもと接するのは楽しいと笑顔を見せます。



三好 浩美さん (55)
= 宇和町下川 =

サポート経験者の三好さんは「子育てにかかわることができると、サポートする側だって楽しくなります」と話します

全員が、ママの応援団

子どもがいない人も、既に子育てが一段落ついた人も。
このまちで暮らす全員で、ママの応援団になりませんか。
がんばるママに温かなまなざしを向けられるまちは、今よりもっと「子育てしやすいまち」になれるはずです。



心地良い距離感でおしゃべりできて、リフレッシュ。
ママたちの表情も、いきいきと輝きます。子どもたちは、たらいで水遊びをしたり、室内でおもちゃ遊びをしたり。子育て支援センター(宇和保育園)にて。

原田 祥子さん 黒田 恵美さん 赤松 加奈さん



マ マたちが「子育てしやすい」と思えるような地域をつくっていくことは、行政の大事な仕事です。市ではファミリー・サポート・センター事業の開始はもちろん、今後、1歳児までにおむつ代を支援しようと動いています。

しかし「子育てしやすいまち」になるためには、それだけでは足りません。経済面、施設面、環境面、心理面、夫婦関係―。「子育てしやすい」と感じるポイントは複雑に絡み合っています。だからこそ親だけでなく、家族だけでなく、行政だけでなく、まち全体で「子育てしやすいまち」を考えていくことが大切です。

「スーパーに買い物に行ったとき、若い男性の店員さんが、買った物を全て袋に入れてくれました。抱っこ紐だったので両手は空いていたけれど、抱っこしたままの袋入れはやりづらく、とても助かりました。子どもを持つとちょっとした心遣いでもありがたく感じ、感動します」と話すママがいました。

温かな気持ちを、何気ない言葉や行動で表されたことに感激して、笑顔になれるママがいます。泣きじゃくる子どもを連れてママに出会ったときには「子どもは泣くのが仕事やけん、気にせられんよ」「静かになったら、まちから活気がなくなってしまうよ」と一声かけるだけで、励まされる人もいます。ファミサポの提供会員となって子育てをサポートすれば、サポートする側だって笑顔になれる可能性があります。

「夫は理解してくれない、子どもは思うようにならない、自分の時間は持てない、周りは好き勝手に話をして、何だか責められてるみたい―」などという思いを一人で抱えて、日々奮闘しているママたちが、今よりもっと笑顔になるために。ママの気持ちを理解し、共感し、寄り添うことから始めてみませんか。この地で暮らす一人一人が、ママに対して温かな関心とまなざしを向けることは「子育てしやすい」まちへの第一歩です。

ママたちが「子育てしやすい」と思えるまちは、今よりもっと暮らしやすく、元気なまちであるはずです。

輝けシニア！実りの祭典 in 三瓶
はつらつ高齢者に拍手の嵐



昨年の野村町に引き続き、今年は7月9日(土)、三瓶町で「輝けシニア！実りの祭典」が開催されました。

主催は市地域包括支援センターで、高齢者の生きがいを応援するため企画しているもの。

第1部は川本龍一医師による講演会「生きて逝く」。第2部はシニアファッションショーが行われ、高齢者の輝きに会場からは大きな拍手が起こっていました。



3 見て。ネイルも素敵でしょ。
 4 華やかな振袖が何とも艶やか。
 5 「ファッションショーに出るなら車椅子ではなく、自分の足で歩きたい」。何度も歩行練習を繰り返し、美しい立ち姿を披露したモデルさん。



西予市自主防災組織連絡会
南海トラフへの備えを学ぶ



平成28年度 西予市自主防災組織連絡会
 地域防災の中核を担う市内68自主防災組織の機能強化と組織間連携を図るため、西予市自主防災組織連絡会を7月2日(土)、市役所で開催。

愛媛大学防災情報研究センターの高橋治郎名誉教授は「熊本地震における地域防災の課題と南海トラフ地震への備え」と題して講演。「熊本では大きな地震は発生しないという油断が、大きな被害へとつながった。自分の地域をよく知り、災害の被害想定を正しく理解し、地域を挙げて日頃から備えることが大切」と話されていました。

防災セミナー in 西予市
津波避難マップを作成



愛媛大学と連携し、南海トラフ巨大地震に伴う津波からの避難行動を考える防災セミナーを6月26日(日)、明浜中学校体育館で開催。明浜地区の小・中学生と住民約300人が参加し、津波避難マップの作成に取り組みました。

地図内に浸水地域などを書き込んだ後は、愛媛大学二神准教授が開発したシュミレーションを活用し、自宅から避難場所までの距離と時間を計算。中学生が小学生に、大人が子どもたちにアドバイスを行うなど、皆で知恵を出し合っていました。

ハンセン病がテーマ「姫塚伝説」
市民劇団の熱演に涙



市民劇団「もんたかな」が三瓶町嶋山地区に残る「姫塚」を題材に、「姫塚伝説—嶋山の里ものがたり—」を熱演。三瓶文化会館で7月31日(日)に開催された公演では、大入り満員の観客ら約750人が感動の渦に巻き込まれました。

姫塚伝説は、ハンセン病を患い都を追われ、船で嶋山に流れ着いた公家のお姫様と、心優しい住民の物語。お姫様が「この地から私と同じ病気が出ないように」との願いを込め経文をしたためたとされる、青石で造られた姫塚は現存しています。

国体リハーサル大会
選手たちが西予で熱戦



第72回国体大会ソフトボール競技リハーサル大会として、第56回全日本実業団女子ソフトボール選手権を7月29日(金)～31日(日)まで、市営宇和球場と宇和運動公園で開催しました。

全国から13チームが参加。日本精工(滋賀県)と花王コスメ小田原(神奈川県)が争った決勝戦では、延長の末0対1で花王コスメ小田原が優勝。真新しい市営宇和球場には、スコアボード電光掲示板なども完備されています。

奥伊予の奇祭「どろんこ祭り」
舞台は神田 3500人沸く



五穀豊穡や無病息災を願って行われる城川町の伝統行事「どろんこ祭り」が7月3日(日)、土居地区の三嶋神社神田で開催されました。

田植えが機械化される前に行われていた牛の代かきでは、使い手が牛7頭を横一列に並べながら前進。神楽の「さんばい降ろし」では、いたずら好きな大番が、お供え物を奉納する太夫たちを水田に引きずり降ろすさま(写真)に、観客3500人が熱狂していました。

視聴コーナーを設置
三瓶支所でジオミュージック



三瓶支所1階 正面玄関突き当たりに、ジオミュージックを無料で視聴できるコーナーを設置しました。iPod(アイポッド)とヘッドフォンを1組置いていますので、自由にお楽しみください。

ジオミュージックは、四国西予ジオパークの見どころであるジオサイトと、その雰囲気高める音楽の融合を目的に制作された楽曲のこと。下のQRコードを読み込んでも須崎海岸「地平線の彼方への追想」が聞けます。散策のお供に、ぜひ利用ください。



Health

保健だより

《 そのつらさ、心の病気かも？ 》

▼過度なストレスに要注意
強いストレスを受けると、心と体のバランスが崩れ、心の病気になることがあります。

その一つがうつ病です。うつ病は心のエネルギーが低下している状態。物事に対して悲観的や否定的になったり、楽しめなかつたりして、日常生活に支障が出る場合があります。

早めに適切な治療を受ければ治る病気ですが、慢性化し、重症になると自殺の危険性が高まることもあります。

▼2週間以上続く症状に要注意
長引く体調不良は、うつ病が隠れて

いる可能性があります。心の不調のサインは、次のような症状です。

- 眠れない（寝付きが悪い、何度も目が覚める、朝早く目が覚める）
- 食欲がない
- 気分が落ち込む など

身近な人が「元気がない、疲れているよう」など、いつもと違う様子に気付いたら、まずは声を掛けましょう。

心の健康について気になることがあれば、保健師や心の相談窓口にお早めにご相談ください。



つらい出来事だけでなく、嬉しいことも「生活を変える出来事」としてストレスになります

9月9日は「救急の日」です。

救急車を呼ぶときは急病や事故などのときのため、病気やけがをした人が大切な家族や身近の人の場合、多く人は慌ててしまいます。

いざというとき、慌てず迅速に救急車を呼ぶために、次のことを覚えておきましょう。

▼救急車は「119」
救急車を呼ぶときの番号は「119」です。固定電話、公衆電話、携帯電話から通報できます。

通報を受けた指令員は、出動に必要なことを順番に伺い、全てを聞き終え

る前に救急車を出動させます。

▼質問内容

- ①「救急か？火災か？」
- ②「場所」「症状・状況」「通報者の名前」など

伝えたいことを言うよりも、指令員の質問に落ち着いて答えていくことが、早期出動への近道となります。

- ▼救急隊に伝えてほしいこと
- 事故や具合が悪くなった状況
- 救急隊が到着するまでの変化
- 行った応急手当などの内容
- 具合が悪い人の情報
- 持病（かかりつけ病院、薬、医師の

指示など）

持病がある人は、普段からメモをしておくことで便利です。これらのことは、状況に応じて救急隊から伺います。

- ▼通報後、準備しておくもの
 - 保険証、診察券
 - お金（病院への支払い）
 - 履物、杖
 - 普段飲んでる薬（お薬手帳）
 - ▼乳幼児の場合に準備するもの
 - 母子手帳
 - 紙おむつ
 - 哺乳瓶、ミルク
- 問 消防本部 ☎0894 (62) 0119

《 救急車を呼ぶときのポイント 》

消防署だより

Fire station

Book

図書館だより

《 子どもの読書を支えます 》

子どもの頃の読書習慣の有無は、その後の人生の読書量に影響すると言われています。作家の角田光代さんは著書「わたしの容れもの」幻冬舎（発）で、子どもの頃に読書体力を養い、長く運動してきた人の持つ「勘」みたいなものを身に付けないと、大人になって本を読むのは難しいのではないかと語っています。



童用図書の充実や利用しやすい雰囲気を作り、普段利用していない子どもに対しても、成長に合わせて読書のきっかけを提供するよう努めています。

- ▼4力月児対象
健診時にコットンバックと絵本を配布します。絵本のおもしろさを親子で体感してもらおうと、一組ずつ読み聞かせを行っています。
- ▼3歳児対象
健診時におすすめの絵本5冊から気に入った1冊をお渡しします。物語の世界に関心を持つきっかけとして、家庭での読み聞かせを呼びかけ

ています。

- ▼小学校1年生対象
さまざまなテーマから選んだブックリストを配布。絵本、物語、知識の本など、興味の幅が広がるよう働きかけをしています。
- ▼小学校1年生～中学3年生対象
継続してたくさん本を借りた児童・生徒を表彰。読書の習慣が身に付くことを目指しています。
- ▼全年齢対象
読み聞かせやブックトークなど、対象に応じて本の魅力を伝えています。

問 市民図書館 ☎0894 (62) 6420

今年で発足20年を迎えた「笠置文化保存会」。笠置峠古墳やナルタキ古墳群など、宇和町岩木地区にある遺跡周辺の里山づくりに汗を流しています。

7月に開催された発足20年記念イベントには、岩木地区で発掘調査や研究を行った愛媛大学考古学研究室の教授ほか、県内外から卒業生も大勢参加しました。

▼「皆さんとの交流が忘れられない」
同研究室が調査に入ったのは、平成7年の岩木赤坂古墳から。以後、岩木地区だけでも10カ所近い遺跡が調査され、100人前後の学生が宇和盆地を

フィールドに学びました。

卒業生の多くは「宇和での地元の皆さんとの交流が忘れられない」と言います。それは、調査研究に有形無形の支援をいただいたことに加え、交流によって地域のことや大学のキャンパスでは知りえないこと、経験しえないことを学ぶことができたからです。埼玉のある市で働く卒業生は「東日本から参加できたのは自分一人だけど、東日本の卒業生を代表して何としても来たかった」と感謝の気持ちを伝えました。

学生との交流は、住民にも多くの刺激を与えたようです。平成13年に実施

したシンポジウム資料には「夏休みの遊びたい時期だろうに、男か女かも分からないくらいに泥んこになって一生懸命やっている。そういう姿を見て、毎日が感動の連続だった」という保存会会員の言葉が残されています。

調査を通して、地域をこよなく愛する学生たちと10年20年経っても交流できるといえるのは、とても素敵なこと。ジオパークに認定された市内には、調べれば明らかになる魅力ある文化財やジオサイトがまだまだたくさんあります。

問 文化体育振興課
☎0894 (62) 6416

《 帰ってきたかつての学生に思う 》

文化財だより

Culture

Region

地域づくりなう

《 手上げ型交付金 11 組織の事業を採択 》

12組織から21申請のあった手上げ型交付金は、プレゼン方式の審査会を経て、11組織14申請（総額2123万2000円）が採択されました。

問 まちづくり推進課 ☎0894 (62) 6403

組織名	交付決定額
田之筋地区地域づくり協議会	35万5000円
田之筋ええとこ再発見プロジェクト事業。地域の魅力を再発見し、地域活性化の将来ビジョンを共有するため、勉強会の開催や先進地視察研修などを実施。	
明間地域づくり会	300万円
明間を「集い・学び・結び」元気に暮らせる地域づくりプロジェクト。閉校となる明間小学校を利用し「水車からくり」「そば・わさび栽培・体験」など、4つの事業を柱とした地域活性化を目指す。	
多田だんだんプロジェクト	45万円
多田地区防災&収穫祭だんだんプロジェクト。防災訓練事業と収穫祭を同日開催し、地域住民の連帯意識を向上させることで、今後の地域づくりの基盤を作る。	
宇和地域づくり協議会	84万4000円
伊賀上やすらぎ村づくり事業。「伊賀上ふるさとまつり」など農作業の体験・交流を通じて地域内外との交流を積極的に図り、共助・供援体制を構築する。	
俵津スマイルーいいまちづくり隊	124万8000円
宮崎川ふるさと計画。宮崎川の美化・保存活動を通じて幅広い年代が誇れる故郷を感じる地域づくりを目指す。	
大崎振興会	63万7000円
田之浜楽校事業。閉校となった田之浜小学校を活動拠点に、幅広い年代が参加できる授業（健康づくり、郷土料理の伝承など）を開催する。	
かりとりもさくの会	382万8000円
①地域外との協同による景観活用と保全に向けた調査と住民会議の開催（119万9000円） ②狩江の資源を活用した交流・体験プロジェクト（48万5000円）…四国3大学とインドネシア3大学のsuuji活動の中で、住民と学生の交流を図り宣伝する。横須賀の小学校で「みかんの皮むき選手権」を開催。 ③閉校をバネとした地域の活性化事業（214万4000円）…閉校した小学校を活動拠点に、農業体験や子育て支援などを実施。笑顔で生きられる地域づくりを目指す。	
ふるさと創生会	212万円
地域の魅力まるごと発信プロジェクト。地域特産品でイベント開催、茶堂を通じて都市部と活発に交流。	
高川地域づくり会	300万円
移住交流促進事業。「お試し移住専用住宅」を積極的に市外へ宣伝。体験ツアーや入居後の支援を行う。	
野村地域自治振興会	380万円
①ビジターセンターの設置を柱とした観光振興及び人材育成（260万円）…観光客や地域住民が気軽に足を運べる拠点施設を整備し観光振興と人材育成を図る。 ②自伐林家の育成及び推進（120万円）…講演会や実践研修会を行い自伐林業研修生の技術習得を目指す。	
横林自治振興協議会	195万円
横林防災向上計画。急峻な山々に囲まれた地形に最適な防災体制を構築し、安心安全な地域づくりを展開。	

「外科」は手術で傷や病気を治す分野で、薬による治療を主体とする「内科」とは異なります。

近年、治療対象とする臓器や病気によって外科もさまざまに分類（消化器外科、乳腺外科、血管外科、心臓外科、小児外科など）されており、それぞれの専門家が診療にあたっています。

呼吸器外科は、その名のとおりに「呼吸器＝肺」の病気を手術によって治療する分野です。実際には胸部領域の心臓や食道以外の気管、縦隔、胸壁、横隔膜などの疾患にも対応しています。

▼死亡数第一位「肺がん」

われわれ呼吸器外科医が手術を行う代表的な病気は、やはり肺がんです。現在、日本では死亡数第1位のがんで、いわゆる5年生生存率も他のがんと比較して悪いとされています。

検診などで比較的早期に見つけることができれば、手術によって完治させることは可能です。しかし、症状が出るなどある程度進行した状態で見つかるなど、手術はときに困難で、呼吸器内科などで薬（抗がん剤）や放射線の治療が主体となり、その予後は芳しくありません。

その他、肺がしほんでしまう「気胸」や、他の臓器のがんが肺に転移してくる「転移性肺腫瘍」、縦隔や胸壁、横隔膜から発生する良性も悪性も含めた腫瘍も手術対象となります。現在、愛媛県には呼吸器外科の専門医が約20人います。多くは中予地区の病院に在籍していますが、私も月に2回程度、西予市民病院で診療しています。相談などありましたら、受診していただければと思います。

問 （呼吸器外科専門医 重松久之）

☎0894 (62) 1121

《 気になる症状は呼吸器外来へ 》

西予市民病院だより

Hospital

Living

警察署&消費生活センター

《 悩んだら「免許相談室」へ 》

県警は、運転免許センターに「免許相談室」を開設しました。

病気が障がいをお持ちの人、高齢者に対する運転免許の更新手続きや条件などについて、個別相談を行っています。相談を希望される人は、テレホンサービス（☎089・978・4141）に電話いただくか、直接運転免許センターの更新窓口までお越しください。担当職員が直接相談に応じます。

▼主な相談例

- 交通事故や脳梗塞により手足に障がいが生じたが、免許更新は可能か
- 病気が治療の副作用で頭髪が抜けている場合、免許更新の写真撮影をどうしたらいいか
- 白内障により視力が落ちていますが、免許更新はできるか
- 子どもが外国留学中で免許更新できない場合、どうしたらいいか

問 西予警察署
☎0894 (62) 0110

《 特定計量器（はかり）の定期検査 》

取引や証明に使用される「はかり」は、2年に一度の定期検査が定められています。いずれの会場でも受け付けできますので、必ず受検してください。

ヘルスマーターやキッチンスケールなど、家庭内で使用するものは検査の必要はありません。

問 県計量検定所 ☎089 (947) 4001
経済振興課 ☎0894 (62) 6408

開催日	時間	検査場所
9/1 (木)	午前11時～午後3時	明浜町民会館
9/2 (金)	午前11時～午後3時	狩江公民館 (明浜町)
9/5 (月)	午前11時～午後3時	俵津公民館 (明浜町)
9/6 (火)	午前11時～正午 午後1時30分～3時	三瓶農村研修センター 三瓶北公民館
9/7 (水)	午前11時～午後3時	三瓶支所
9/8 (木)	午前11時～正午	惣川出張所 (野村町)
9/9 (金)	午前11時～午後3時	野村公会堂
9/12 (月)	午前11時～午後3時	総合センターしろかわ
9/13 (火)	午前10時30分～午後3時	西予市役所
9/14 (水)	午前10時30分～午後2時	西予市役所

休日当番医

変更となる場合あり。念のため医療機関へ確認の上お出かけください。

9月	奇数日が西予市民病院 偶数日が野村病院
----	------------------------

西予市民病院 ☎0894(62)1121
市立野村病院 ☎0894(72)0180

二次救急は中症～重症患者の受け入れをする医療機関です。検査・入院・手術が必要な場合に備え、医師と外来看護師が当直し、検査・放射線技師が待機して救急医療にあたっています。

宇和・明浜地区

9月 4日(日)	上甲耳鼻咽喉科(卯之町一丁目) ☎0894(62)0012
9月 11日(日)	かどた医院(卯之町五丁目) ☎0894(62)6722
9月 18日(日)	二宮医院(卯之町二丁目) ☎0894(62)0144
9月 19日(月)	おだクリニック(卯之町五丁目) ☎0894(62)6606
9月 22日(木)	矢野整形外科(卯之町三丁目) ☎0894(62)6698
9月 25日(日)	高千穂医院(宇和町上松葉) ☎0894(62)5009

野村・城川地区

9月 4日(日)	おか医院(野村町阿下) ☎0894(72)3456
9月 11日(日)	宇都宮内科(野村町野村) ☎0894(72)3333
9月 18日(日)	野村病院(野村町野村)
9月 19日(月)	☎0894(72)0180
9月 22日(木)	※19日と25日は一次救急のため検査不可
9月 25日(日)	

三瓶地区

9月 4日(日)	
9月 11日(日)	
9月 18日(日)	八幡浜急患センター (八幡浜市大平)
9月 19日(月)	☎0894(24)1199
9月 22日(木)	
9月 25日(日)	

小児科

9月 4日(日)	おおむら小児科(内子町城廻) ☎0893(44)7117
9月 11日(日)	守口小児科(八幡浜市産業通) ☎0894(24)7770
9月 18日(日)	大洲なほほクリニック(大洲市東若宮) ☎0893(25)7710
9月 19日(月)	八幡浜急患センター(八幡浜市大平) ☎0894(24)1199
9月 22日(木)	山下小児科(宇和町伊賀上) ☎0894(62)6801
9月 25日(日)	ごとう小児科(大洲市東大洲) ☎0893(23)0510

小児在宅当番での外科治療は対応困難なため、けがなどの場合は外科系当番医か救急病院をご利用ください。

県外移住者の住宅改修を支援します



空き家を有効活用し定住を促進するため、県外から西予市内へ移住する子育て世帯と働き世代に対して、空き家改修経費や、家財道具搬出経費などの一部を補助します。

▶申請期間

8月22日(月)から受付開始。
予算がなくなり次第、受付を終了します。 問 まちづくり推進課 ☎0894 (62) 6403

▶対象者

- 次の全てに当てはまる人。
 - 愛媛県外からの移住者(結婚によるものを除く)で、補助対象事業を行う空き家に5年以上居住する人
 - 構成員のうち、少なくとも1人が50歳未満の世帯(働き手世帯)または、構成員に同居する中学生以下の子どもがいる世帯(子育て世帯)
 - 本人および同一世帯に属する人が、前住所地を含め市町村民税と固定資産税を滞納していないこと

▶補助の対象となる住宅

- 次の全てに当てはまる住宅。
 - 移住者が居住を目的に購入・賃借した一戸建て住宅
 - 県空き家バンクまたは西予市空き家情報登録制度に登録された物件で、バンクおよび空き家情報を通じて売買または賃貸借されたもの
 - 移住者が対象住宅の改修などを行うことができる権限を有していること
 - 住宅の所有者が移住者の二親等以内の親族である場合は除く

▶補助の対象となるもの

- 移住者が行う住宅の改修や家財道具の搬出などに要する経費。
 - 西予市移住者住宅改修支援事業費補助金交付要綱に規定する補助対象経費

- 業者を利用する場合は、原則、西予市内の業者であること
- ▶補助金額
 - 住宅改修・家財道具搬出などの経費の3分の2
 - 住宅改修経費の上限は200万円(中学生以下の子育て世帯は上限400万円)ただし、総事業費は50万円以上であること
 - 家財道具の搬出経費などは上限20万円、ただし総事業費が5万円以上であること

**貸したいけれど
家財道具もあるし…とお悩みの人
処分費用を助成します**

- 空き家の所有者または空き家所有者の相続人が対象。
 - ▶補助の対象となる空き家
 - 西予市内の居住が可能な空き家で、貸付または譲渡が可能であること
 - 事業完了後に西予市空き家情報登録制度により、空き家情報登録を行えること
 - ▶補助の対象となるもの
 - 空き家内の家財道具などの処分と搬出にかかる経費。
 - ▶補助金額
 - 補助対象経費の2分の1の額で上限は10万円

情報

Information market

掘り出し市

自分にピッタリな情報 きっと見つかる!



ミニ運動会

9月の子育てサロンスキップCUIbはミニ運動会を開催。
▼日時 9月2日(金)
午前10時~11時30分
▼場所 宇和児童館「つわっこ」
問 宇和児童館 ☎0894 (62) 7331

なんよ手仕事マルシェ

南予で活動する雑貨、工芸、ガラスなどのハンドメイド作家が一堂に会するイベントを開催。
▼日時 9月17日(土)
午前10時30分~午後2時
▼場所 野村町保健福祉センター
問 地域活動支援センターたんぼ工房 ☎0894 (72) 3582

ジオサイクリング開催

第3回サイクリングGreen四国西予ジオパークを開催。
主会場内「カト温泉」の無料入浴券付き。地酒や野菜など特産品が当たる抽選会も好評です。地ものを使用したエイドステーションでのおもてなしにもご期待ください。
現在参加者募集中。詳しくはお問い合わせください。
▼日時 10月16日(日) 午前9時~
▼場所 乙亥会館集合
▼コース

ビギナー

コース48.5km、エキスパートコース82.5km
▼参加費 5000円
▼レンタサイクル 1台2000円
▼車両規定
スポーツサイクル(ロードバイク、クロスバイク、マウンテンバイク)限定
▼制限時間 7時間
問 野村教育課 ☎0894 (72) 1117



「ランチ付きジオクルーズ」参加者募集



卯之町の歴史探訪と奥地湾を巡るジオクルーズを開催。ランチには、おいしい「ジオの恵み」をご用意しています。
現在、参加者募集中。このツアーは、市から業務委託を受けた一般社団法人SGSが実施します。
▶日時 10月2日(日) 午前10時~午後4時30分
▶集合場所 道の駅どんぶり館
▶定員 20人(先着順)
▶参加費 大人3500円
問 一般社団法人SGS ☎090 (7787) 4089

救急医療を守ろう

休日や夜間、救急病院に軽症の患者さんが集中することで医師の負担が増えています。同時に、安易な救急車の呼び出しで出動回数が増加し、重症な患者さんの搬送に困るケースも増加しています。

このままでは、住民の皆さんに適切な医療を提供できなくなる恐れがあります。それを防ぐために、愛媛県では「愛媛の救急医療を守る143万人の県民運動（愛救143運動）」を実施しています。

医療機関や救急車の適切な利用を、一人一人が心がける取り組みです。ご協力をお願いします。

▶ 普段から3つの心がけ

- ①日頃から「かかりつけ医」を持ちましょう
- ②健康診断や検診で、病気の予防や早期発見
- ③家庭で薬を常備しましょう

▶ 受診の3つの心がけ

- ①なるべく通常の診療時間内に受診しましょう
- ②救急車で搬送されても軽症の場合は、通常の受付順となる場合があることに留意しましょう
- ③休日などで比較的症状が軽い場合は、休日当番医を利用しましょう。広報せいよP17に毎号掲載しています

▶ 症状は軽いけれど受診したい場合

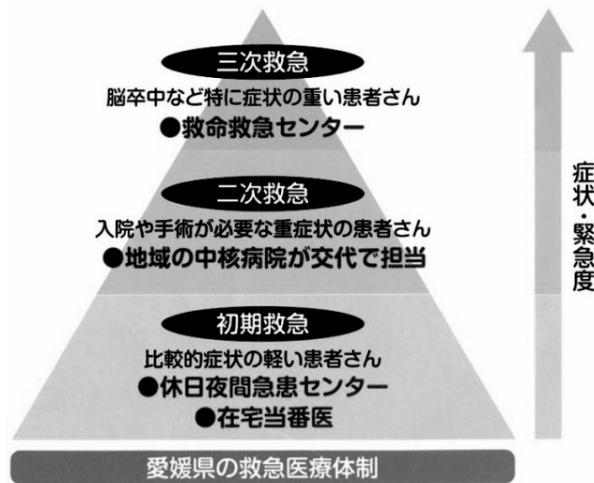
休日や夜間に、どの病院に行けばよいか分からない場合は、えひめ医療情報ネット（インターネット）で検索できます。

消防署（☎62-0119、三瓶地区は☎33-3349）に問い合わせても可。必要な情報を得ることができます。

▶ 子どもの急な病気やけがの場合

小児救急医療電話相談（#8000）を利用してください。

問 健康づくり推進課 ☎0894 (62) 6407



縫わずに作るがま口ケース



平成28年度いきいき学級の受講生募集。今回は、縫わずにできるがま口ケースを作ります。好きな生地で自分だけのオリジナルがま口を作ってみませんか。

▼日時 9月14日（水）午後1時30分～4時

▼場所 市教育保健センター4階

▼定員 20人（多数の場合は先着順）

▼申込期限 9月5日（月）

▼受講料 無料

▼材料費 1000円～1300円（生地や口金によって異なります）

▼講師 クラフトハートトーカー長本朱里さん

問 生涯学習課 ☎0894 (62) 6415

婚礼の世界、ご覧あれ

明治の婚礼風景を再現した部屋や、きれいな打掛、嫁入り道具の数々をのぞいてみませんか。

宇和町近辺の婚礼の風習「おちつきばたもち」も紹介。

▼期限 12月25日（日）まで
▼午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）

▼場所 宇和民具館
▼入館料 大人500円、小中学生300円
問 宇和民具館 ☎0894 (62) 1334

お嫁さんのおこしらえ



プロの美容師によるお嫁さんの着付け見学会を開催。明治の婚礼を今に伝える「ぼつやの会」代表による解説付き。

見学後、打掛とかつらの試着や、お嫁さんとの記念撮影もできます。

お土産には「おちつきばたもち」を用意。

▼日時 10月16日（日）午後1時30分～3時30分

▼場所 宇和民具館

▼申し込み方法 8月20日（土）から電話受付開始

※月曜日は休館日

▼参加費 大人500円、小中学生無料

▼入館料 大人500円、小中学生300円

▼定員 40人（定員になり次第締切）

問 宇和民具館 ☎0894 (62) 1334

講座



朗読ボランティア養成講座

音訳により視覚障がい者へ情報提供を行う朗読ボランティア、子どもたちの読書支援をする読み聞かせボランティアの養成を行います。

初心者大歓迎。参加希望者は電話で申し込みください。

▼対象者

朗読や読み聞かせボランティアに
関心がある人

▼日程 全8回。毎週木曜日。①10月13日、②10月20日、③10月27日、④11月10日、⑤11月17日、⑥11月24日、⑦12月1日、⑧12月8日

▼時間 午後1時30分～3時30分

▼場所 市社会福祉協議会 宇和支所（宇和町卯之町四丁目746番地）

▼定員 20人（多数の場合は先着順）

▼講師 NHK松山文化センター朗読講師（元NHKアナウンサー）加藤澄子さん

▼受講料 無料

PICK UP

「婚活学園」の受講生募集 ～一生の出会いを演出～



愛媛県が開
設した「えひめ結婚支援センター」で、恋愛や婚活のスキルアップセミナーなどを実施する

「婚活学園」を開催。参加費無料。基礎編では仲人歴19年、関西の婚活アドバイザーとして活躍中の山田由美子さんによる愛媛初の講演を実施。

【基礎編】

▶日程 10月2日（日）午後2時～4時30分

▶場所 内子自治センター

▶講師 婚活アドバイザー山田由美子さん

▶内容

男性向け「モテる男子とモテない男子」、女性向け「選ぶより選ばれる人」、男女合同「結婚したい人に出会う方法～いざ結婚っていつ?～」応援者向け「今どきの結婚事情」

▶定員 男性30人、女性30人、応援者20人

▶募集期限 9月30日（金）

問 えひめ結婚支援センター ☎089 (933) 5596 E-mail:kongaku@msc-ehime.jp



中学卒業程度認定試験

病気や、やむを得ない事情により
中学校を卒業できなかった人に対し
て、中学校卒業程度認定試験が実施されます。
出願書類の請求や受験手続に関しては問い合わせください。
▼対象者
平成29年3月31日までに満15歳以上になる人および日本国籍を有しない人
▼試験日 10月27日(木)
▼場所 愛媛県庁
▼願書提出先 文部科学省
▼受付期間
8月22日(月)～9月9日(金)
※消印有効
▼問 学校教育課
☎0894(62)6414



視覚障がいがある人へ

宇和町を中心に活動している朗読ボランティア「あすなる」は、「広報せいよ」「議会だより」「社協だより」をおしす」などを音訳して、視覚障がいを持たれている人にお届けしています。
音訳はCDとカセットテープのどちらかでお届けします。
視覚に障がいがあり、聞いてみたいと思われる人は、遠慮なくお電話ください。
▼問 市社会福祉協議会 宇和支所
☎0894(62)3770

屋外広告物はルール守って

来年度開催のえひめ国体に向けて、来県者が再び訪れたいと思える魅力あるまちづくりのため、屋外広告物(看板)適正化を推進しています。
屋外広告物が無秩序に表示され、管理が適正に行われないと、まちの景観を損ねることになりかねません。市では、県の条例に基づき、屋外広告物を表示できる場所や大きさなどを定めています。
表示のルールを守り、景観の整ったまちづくりを進めましょう。
▼問 建設課
☎0894(62)6410

「奥地」の参加券当選番号

2016「奥地の海のかー」による参加券当選番号を発表。
▼5000円券(下4ケタ)
0335、0524、0643、0929、0984、1005、1409、1528、1588、1744、1950、2210、2554、2630、2771、2995、3192、3434、3652、3840
▼2000円券(下3ケタ)
009、162、176、233、271、322、395、443、480、556、585、640、668、772、792、832、865、953、988
当選券は花火に寄付された商店でのみ使用できます。(商工会三瓶支所まで問い合わせ ☎33・0357) 使用有効期限は、平成28年10月31日までです。
▼問 三瓶支所 産業建設課
☎0894(33)1114

難しくなったら免除申請

国民年金保険料を納め忘れた状態で、万が一障がいや死亡といった不慮の事故が発生すると、障害基礎年金や遺族基礎年金が受けられない場合があります。
▼問 国民年金課
☎0894(62)6414

現地調査へご協力を

西予土木事務所では「土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律」に基づき、土砂災害(特別)警戒区域設定のため、次の日程で現地調査を行います。
皆さんの土地へ立ち入らせていただく場合がありますので、ご理解とご協力をお願いします。
▼【地すべり調査】
☎0895(22)5440

【急傾斜・土石流調査】

▼時期 9月～
▼対象地域 市内全域
▼実施業者 基礎地盤コンサルタンツ(株)
▼問 県南予地方局 西予土木事務所
☎0894(62)1331
▼実施業者 基礎地盤コンサルタンツ(株)
☎089(927)5808
▼作業担当者：古山勝一
▼応用地質(株)
☎089(925)9516
▼作業担当者：永野潤

PICK UP

文化の里施設の 使用料が変わります



10月から、文化の里施設(宇和先哲記念館、文化の里休憩所)の使用料が変わります。新たに「末光家住宅」や「旧武蔵」を一般解放し、学習活動などに使用できるようにします。(要相談)
旧武蔵では、はがまで米を炊いて味わうことができる「昔のくらし体験」料金を設定しました。
冷暖房の使用料は、10月から「使用料の3割加算」になります。

▶使用料

施設名	変更前	変更後
宇和先哲記念館(和室)	200円～500円(半日・1日)	150円(1時間)
文化の里休憩所(和室)	200円～500円(半日・1日)	150円(1時間)
末光家住宅(インターネット利用可)	設定なし	1000円(1時間)
旧武蔵	設定なし	1000円(1時間)

▶体験料 昔のくらし体験…200円
▼問 宇和先哲記念館 ☎0894(62)6700

広報文芸

- ◆川柳◆
▼川柳宇和吟社
里の色なにかというときどきだけ
石野 花怜
さまざまの思いを胸にお遍路へ
兵頭 盡靖
買えない宝元氣をくれる友がいる
松山 昭子
- ▼川柳のむら吟社
遍路旅いい心が澄んで来る
林 逸子
ヒロインになって紫陽花寺に行く
篠藤百合子
裏方に徹して芯が柔らかい
西田美恵子
- ◆短歌◆
▼宇和短歌会
人の世は良き事ばかり無かりけり七
転び八起きで古希を過ぎたり
兵頭美根子
梅雨晴れの高知の街は華やきて日曜
市に群れる人々
山本 英子
露含む朝の芝生の愛しけれうす化粧
せる女性にも似て
末光 翠峰
- ◆俳句◆
▼高山月俳句会
そこまでと思へど遠し白日傘
岡崎 豊子
南天の小花打ち敷く叩き土間
宇都宮諒愚
今日を鳴き明日なき蟬の命かな
川口 京仙
- ▼宇和柿句会(宗一選)
清けしや空に溶け込む山法師
池島史都子
山法師雨を明るくしてをりし
石野 桂子
藤棚にしのげぬ雨となつてきし
牛頭満寿子
▼ひろば句会(カホル選)
面となり青田の風の見えてくる
沖野 恭子
夏祭恩師に出合ひ時忘れ
堀田 美和
吾子真似す夫の付けたるサングラス
松本 美鶴
- ▼れんげ草句会
雲の峰ぬけてふるさと近くなる
山下 洋美
太陽が顔出し梅雨の中休み
大内 敏子
短パンでリュックを背に夏遍路
三好 誠人
- ▼中川俳句会
水打ちはなれぬおもひ鎮めけり
玉井喜三郎
梅雨地獄震災の地に水攻も
玉井アツ子
僧迎ふ少し多めの水を撒く
末光恵美子
- ▼さわらび句会
狭所の風青葉となりし山望む
松本るみ子
白南風やとじ込められし日もすがら
大塚かしえ
老いてまた句をたのしみて青田道
松本キサエ



結婚相談

▼三瓶支所
9月20日(火) 午後1時～3時

▼総合センターしろかわ
9月15日(木) 午前9時30分～正午

▼野村公民館
9月5日(月) 午前9時～11時

▼市役所1階相談室
9月8日(木) 午前10時～午後2時

▼高山公民館(明浜町)
9月6日(火) 午前9時30分～正午

▼野村公民館
9月5日(月) 午前9時～11時

行政相談

行政全般に関する苦情や意見、要望などを相談できます。

▼高山公民館(明浜町)
9月6日(火) 午前9時30分～正午

▼市役所1階相談室
9月8日(木) 午前10時～午後2時

▼野村公民館
9月5日(月) 午前9時～11時

▼総合センターしろかわ
9月15日(木) 午前9時30分～正午

▼三瓶支所
9月20日(火) 午後1時～3時

心の悩み相談(予約制)

さまざまな心の悩みや不安に、精神科医と保健師が対応します。

▼日時 9月30日(金)
午後2時～3時30分

▼場所 三瓶保健福祉総合センター
予約先:健康づくり推進課
☎0894(62)6407

相談



B型肝炎の被害者救済

集団予防接種での注射器の回し打ちによるB型肝炎ウイルス感染被害について、国から和解金支払いなどの救済を受けるための手続きを、広島弁護士団が説明する「B型肝炎被害者救済説明会」を開催します。

お誕生おめでとう

おくやみ

広島弁護士団が担当する中四国6県の中でも、愛媛県の原告は広島県に次ぎ2番目に多い状況です。愛媛県内には、潜在的な被害者がまだ多数おられるものと思われます。

▼日時 9月3日(土)
午後1時30分～1時間程度

▼場所
宇和島第一ホテル・珊瑚(宇和島市中央町1-3-9)
参加費 無料
事前予約不要です。

問 全国B型肝炎訴訟広島弁護士事務局
☎082(223)6589

本人はもちろん、ご家族からの相談も可。

▼高山公民館(明浜町)
9月12日(月) 午後1時～3時

▼市教育保健センター
9月5日(月) 午後4時～7時

▼野村公民館
9月26日(月) 午後3時～5時

▼三瓶文化会館
9月15日(木) 午後1時～3時

人権相談

差別的扱いや体罰・いじめ、変なうわさを立てられたなどを相談できます。

▼高山公民館(明浜町)
9月7日(水) 午後1時～3時30分

▼総合センターしろかわ
9月15日(木) 午前9時30分～正午

心配ごと相談

日常生活での悩みごと、困りごとなどを相談できます。予約不要。

▼田之浜公民館(明浜町)
9月9日(金) 午後1時～3時

▼市社会福祉協議会 宇和支所
9月13日(火) 午後1時～3時

▼野村保健福祉センター
9月27日(火) 午後1時～3時

▼野村保健福祉センター
9月6日(火) 午後1時～3時

▼総合センターしろかわ
9月15日(木) 午前9時30分～11時30分

▼三瓶支所
9月20日(火) 午後1時～3時

子どもに関する巡回相談

子どもの性格や行動に心配がある、しつけや子育てに不安や悩みがある、非行や不登校、いじめなどで悩んでいるなどの相談に応じます。

▼南予子ども・女性支援センターの児童福祉司や児童心理司が相談に応じます。予約制。

▼日時 9月20日(火)
午前10時～午後3時

▼場所 市役所1階相談室
福祉課 ☎0894(62)1150

介護・福祉・認知症相談

ホームヘルパーやデイサービス、福祉用具の利用のことなどを相談できます。予約不要。

▼田之浜公民館(明浜町)
9月9日(金) 午後1時～3時

▼市社会福祉協議会 宇和支所
9月5日(月) 午後1時～3時

▼野村保健福祉センター
9月7日(水) 午後1時～3時

▼総合センターしろかわ
9月15日(木) 午前9時30分～正午

▼市社会福祉協議会 三瓶支所
9月20日(火) 午後1時～3時30分

法律相談(予約制)

相続問題や金銭貸借、損害賠償な

お酒の悩み相談(予約制)



アルコールの問題に、相談員と保健師が応じます。

▼ご家族からの相談も可。

▼日時 9月1日(木)
午後2時～3時30分

▼場所 市教育保健センター
予約先:健康づくり推進課
☎0894(62)6407

登記相談(予約制)

土地の相続や贈与、所有権移転登記などの相談に司法書士が応じます。

▼市社会福祉協議会 宇和支所
9月23日(金) 午後1時～3時

▼予約先:市社会福祉協議会 宇和支所
☎0894(62)2000

▼三瓶支所
9月20日(火) 午後1時～3時30分

▼予約先:市社会福祉協議会 三瓶支所
☎0894(33)3046

PICK UP



職場トラブル困ったら

「パワハラがひどい」「突然解雇されて納得できない」など、労使関係のトラブルでお困りの方へ。労働委員会は、公正・中立的な立場で労使間のトラブルの解決を図るための専門機関です。

- ▶事務局職員相談
電話または面談にて。時間は平日の午前8時30分～午後5時15分。随時受け付け中。
- ▶労働委員専門面談
面談。原則第4金曜日の午後2時30分～5時。事前予約制。先着3人程度。

問 県労働委員会事務局
☎089(912)2996

7月提出分(敬称略)。親族の承諾を得て掲載しています。掲載を希望しない場合は届出の際にお申し出ください。※この記事を営利目的に利用することを禁じます。



ヘコ走の世界記録保持者だよ!!
ってヘコ走、もしかして知らないの...?
ばくの絵本好評発売中 ☎0894(62)6408

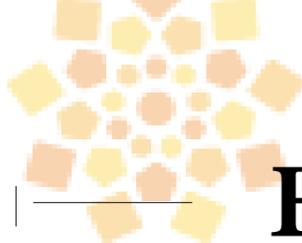
市民のうごき (7月末現在)

※カッコ内は前月比

人口	3万9987人(-9)
	男 1万8814人(-8) 女 2万1173人(-1)
世帯数	1万8436世帯(+23)
出生	12人(-5)
	男 6人(-2) 女 6人(-3)
死亡	46人(+2)
	男 23人(+1) 女 23人(+1)

※H24.7.9住民基本台帳法改正により、外国人を含む人口・世帯数を記載しています

2017 愛顔つなぐえひめ国体 西予市は相撲・ソフトボール(成年女子)の開催地です



Event

えひめいやしの南予博

《 えひめいやしの南予博 2016 プレミアムイベント 》



先着 100 人、参加者募集中

10/23 (日) 収穫パーティー in のむら

サツマイモを掘って、楽しいパーティーをしよう。芋フライ、焼き芋、ミニピザなど。ただ今参加者募集中。

- ▶日時 10月23日(日) 午前10時~午後3時頃まで
- ▶場所 町体育館横サツマイモ農場(野村町野村12-102-1)
- ▶定員 100人(先着順)
- ▶参加費 参加費 1人500円+体験料 1組1000円
子どもの参加は 1人500円。サツマイモ持ち帰りあり。

問 野村町良質食品素材開発グループ ☎090-8692-5241(熊谷)

9月開催のその他の南予博イベントは下記のとおりです。
詳しくは「えひめいやしの南予博」でネット検索。

9/3(土)	第31回夕焼けプラットホームコンサート	伊予市
9/4(日)	南予プレミアムダイニング	松野町
9/10(土)	J R 予土線 森の国ぼっぼ音楽祭	松野町
9/11(日)	四万十・南予横断2リバービューライド	宇和島市
	なんよ手しごとマルシェ	大洲市
9/15(木)	八日市町並観月会	内子町
9/17(土)	ひよし星降るキャンドルナイト	鬼北町
9/18(日)	八幡浜みなとまち音楽祭	八幡浜市
9/19(月)	南予太鼓フェスティバル	宇和島市
9/22(木)	南予プレミアムダイニング	伊方町
9/24(土)25(日)	愛媛西予SEA TO SUMMIT2016	西予市
9/24(土)	わらじで歩こう坂本龍馬脱藩の道	大洲市
9/25(日)	サイクリング佐田岬	八幡浜市

Geopark

GEO ってこー!

《 4億年前の地層 須崎海岸 》



須崎海岸は三瓶町内から沿岸沿いを西へ向かった先にある、標高約90mの断崖絶壁に囲まれた小さな岬です。観音様がこの岬、須崎鼻の端っこにいらっしゃいます。そして観音様の足元に、約4億年前の縦じまの地層が、数100m続いています。

ウバメガシが群生する遊歩道を降りると、目の前に宇和海、両手側に縦じま地層が広がります。縦じまの岩石は火山灰が固まってできた凝灰岩です。中に含まれる石灰岩の礫からは、4億年ほど前のサンゴ化石が見つかっています。このことから、この縦じま地層

は4億年前、遠い赤道付近の暖かい海でできたことがわかりました。

大昔、サンゴが暮らす海中に火山灰が積もりました。それがプレート移動で、約2億年前に今の日本列島がある場所まで運ばれました。元は水平だった地層が、地殻変動で現在のように垂直となりました。この地層は黒瀬川構造帯の一部と考えられています。

問 間近で見るその姿は圧巻です。民間業者が運営する屋形船や海上タクシーでのジオクルーズも人気です。

問 ジオパーク推進室
☎0894(62)6403

学校では、全ての教育活動を通して人権尊重の教育が進められています。特に社会科の教科書では、基本的人権についての学習がより充実されています。人権にかかわる内容は、小学校6年生の社会科、中学校の歴史的分野と公民的分野で取り上げられています。

児童(小学校6年生)が学校教育(社会科の教科書)を通して、人権についてのどのように学習しているのか、見てみましょう。

▼教科書に出てくる内容

【室町時代】

●新しい文化

【江戸時代】

●人々のくらしと身分

●差別された人々

●蝦夷地・琉球王国

●新しい学問(医学)

●汚染め一揆

【明治時代】

●身分制度の廃止と真の平等

●全国水平社

歴史学習のまとめとして、平和で豊かな暮らしのために、これからどうすればよいかを個人や集団で考え、知識を深め、実践化への意欲を高めます。

人権課題については、次のようなこ

とが挙げられます。

●高齢者や障がい者の人権

●子どもの人権

●女性の人権

●歴史で学習した差別をなくす問題

●アイヌ民族、在日韓国・朝鮮人、外国人への偏見

人権尊重の精神を身に付け、偏見や差別をなくすための行動力を養うことは、学校教育の重要な課題でもあり使命でもあります。

※ご意見や感想をお寄せください。

問 生涯学習課
☎0894(62)6415

《 教科書に出てくる人権問題 》

みんなの人権ひろば

Human rights

第22回全国「かまぼこ板の絵」展覧会から入賞作品を紹介

愛媛県教育委員会教育長賞

「卒業のとき」

惣川小学校6年平成27年度
卒業生一同（光咲・智也・大雅）
（西予市）



中・高生大賞
「World Trip」
酒井 璃果
（15歳・愛媛県宇和島市）

今月中・高生大賞と市内入賞作品（佳作を除く）5点中3点を紹介します。

今回から新設された中・高生大賞、ジュニア大賞（先月号掲載）もすばらしい作品が選ばれました。

全国から集まった9222点の感動の芽を觀に、ぜひお越しく下さい。

問 市立美術館ギャラリーしろかわ
☎ 0894 (82) 1001

四国西予ジオパーク賞

「町のすてきを見つけたよ!!」

平成27年度石城小学校2年生8名
（西予市）

神山恭昭審査員賞

「わらぐろ」

植木 怜名（14歳・西予市）



有料広告

人生のリスタートをサポートします
村上勝也法律事務所
借金、夫婦・男女問題、交通事故、相続などご相談下さい。

◆相談料(1時間ごと) ※土日・平日夕方のご相談は応相談
個人的なご相談 5,000円 事業者のご相談 10,000円

弁護士費用の分割払いも可能です。

まずはお電話下さい。
☎0893-57-6266
大洲市中村231愛媛講道ビル2階 <http://www.murakami-law.net>

ひょっとして、入れ歯に
しなくて済むかも？

インプラント で何か
おいしい食べ物をかめるようにしてみませんか？

霜村歯科医院 TEL.0895-22-8405
宇和島市和霊元町 4-1-3 伊予銀行和霊町支店となり
インプラント(保険外診療)1本23万円~25万円(上部被覆冠は別途6~8万円)/税込

ユーズドショップ亀田
金・プラチナ高価買取 ブランド品販売

商品券・金券も買取 宅配買取OK!

亀田質店
【営業時間】am9時~pm8時 【定休日】水曜日

大洲店 **24-5700** (0893) バイパス大洲南出入口(北沢交差点)より川日56号線へ150m

南予地域で働く皆さんの味方です。
なんでも労働相談ダイヤル・無料

いこうよ 連合に つながろう NIPPON 連合
0120-154-052 <http://rengo-ehime.jp>

※固定電話で上記のフリーダイヤルをご利用の場合は、直接南予地域協議会へつながります。
メール相談: rengo-ehime-nanyo@coral.plala.or.jp

労働問題等で困りの方は連合愛媛までご連絡下さい。秘密厳守で対応致します。

連合愛媛南予地域協議会
宇和島市中央町2丁目4番10号
TEL 0895-28-6679 FAX 0895-28-6689

広告募集
問: 情報推進課 ☎ 0894 (62) 6404

編集後記

平成24年度まちづくり市民アンケートの自由記載欄に「不妊のつらさを高齢者にも分かるよう、広報せいで伝えてほしい」と書いてくださった人がいました。今や不妊の夫婦は6組に1組。産みたくても産めない人にとっては、子育てで悩むママの姿すら幸せそうに映るもの。さまざまな事情で「ママになること」をあきらめる女性も少なくありません。子が宝なら母も宝。でも、母でない女性もまた宝です。抱えているものは違いますが、1人の女性として悩み、葛藤し、毎日を必死で生きているのは同じこと。このまちで暮らす者同士、相手の気持ちを思いあって、お互いを笑顔にしあえたら素敵だなあ、なんて感じています。(堀)